

## 河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
渡良瀬川堤防を対象とした堤体内水の常時監視システムによる持続可能な浸透性破壊に対する健全性診断手法の構築(研究期間:H21年~H23年)	群馬大学 松本 健作	A
<p>＜研究概要＞</p> <p>本研究では、渡良瀬川堤防を対象として、河川堤防の浸透性破壊に対する安全性の段階的診断の可能性について検討を行った。また、簡便・安価且つ一定精度を有する堤防基盤漏水の検知技術である、流動地下水探査法の探査結果を、チェーンアレー探査、高密度電気探査、多点温度検層およびボーリング調査の結果と比較することで、その有効性を検証した。</p>		
<p>＜事後評価コメント＞</p> <p>本研究では、流動層検知技術の提案がなされており、当初の研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。</p> <p>今後は、本手法の一般性、他手法との比較検討等を更に進めることに期待したい。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い